

令和3年度 豊橋市市民意識調査

調査の概要

- 調査対象 : 豊橋市在住の満18歳以上(日本国籍)の男女5,000人
- 調査方法 : 調査票を郵送。郵送またはwebにより回答
- 調査期間 : 令和3年6月24日(木)～7月21日(水)

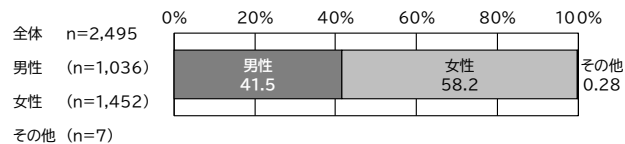
- 有効回収数 : 2,525人(内web回答846人)
- 回収率 : 50.5%

調査項目

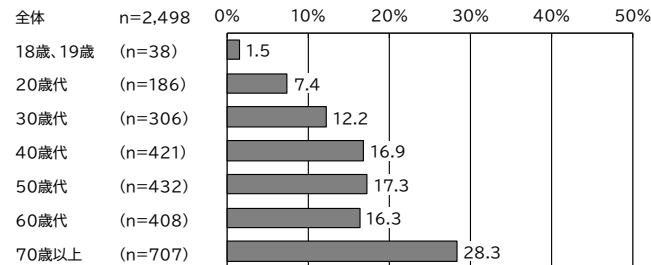
- 豊橋市に対する愛着度と自慢度について
- 中心市街地の活性化について
- 文化財の保存と活用について
- 詩人「丸山薫」について
- 運動やスポーツについて
- 「緑」と「公園」について
- 自転車の安全な利用について
- 学校給食費無償化について
- インターネットを利用した行政手続きについて
- 上下水道事業の広報について
- お住まいの地震対策について
- 防災対策について
- 環境問題について
- 市民協働によるまちづくりについて
- 多文化共生について
- 地域の生活環境について
- あなたご自身について

回答者の属性

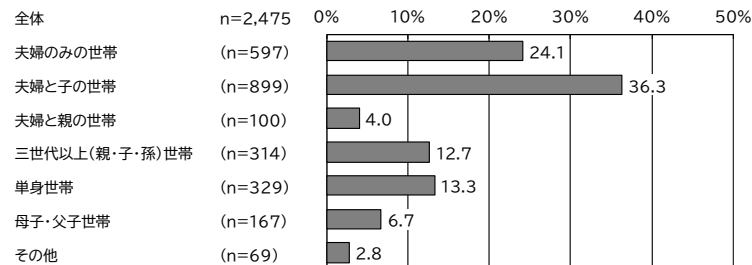
【性別】



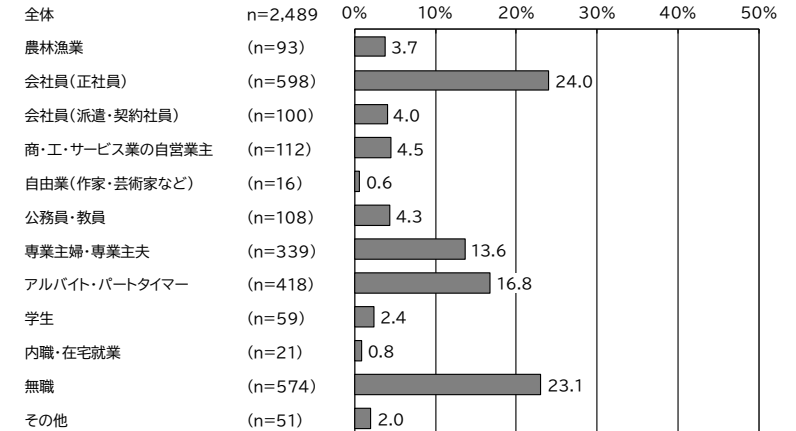
【年齢】



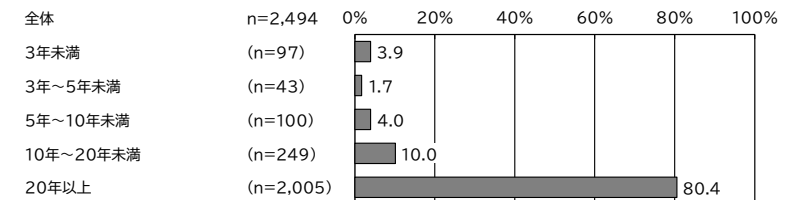
【家族構成】



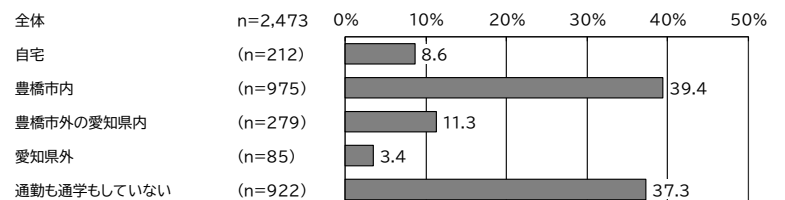
【職業】



【居住年数】

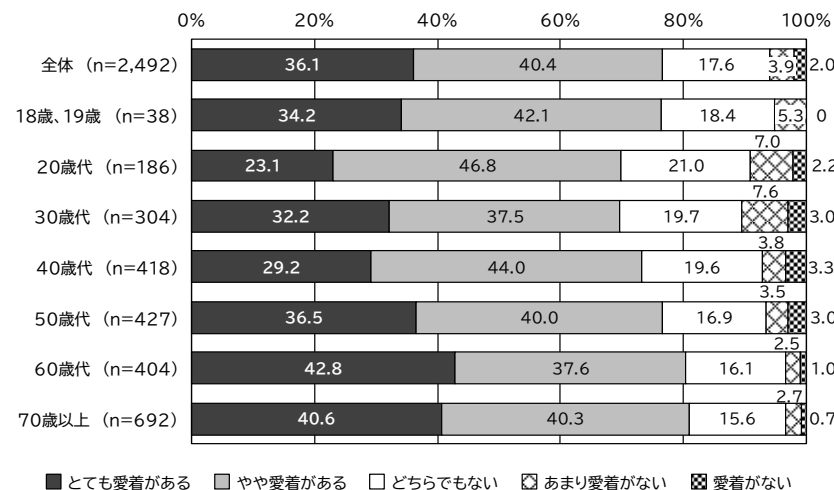


【就業地(通学地)】



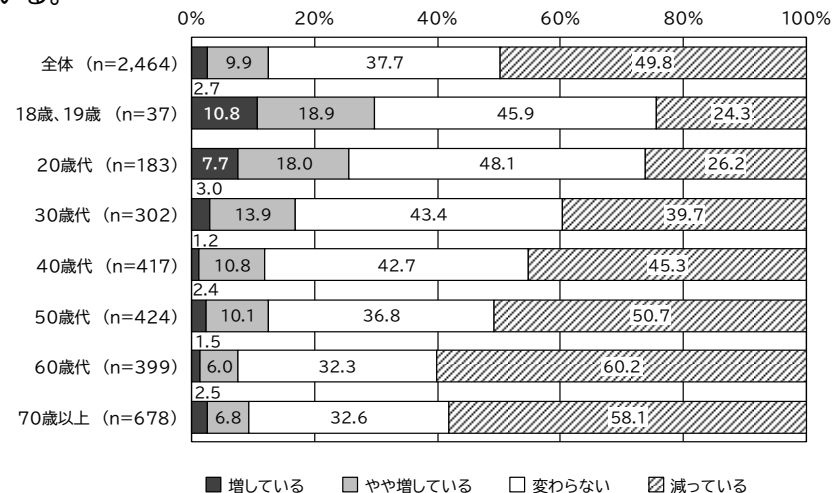
◆豊橋市に対して愛着がありますか。

全体では、「とても愛着がある」、「やや愛着がある」と回答した人を合わせた割合は76.5%となり、「あまり愛着がない」、「愛着がない」と回答した人を合わせた割合は5.9%となっている。



◆現在の中心市街地は、概ね5年前と比べにぎわいが増していると思いますか。

全体では、「増している」、「やや増している」と回答した人を合わせた割合は12.6%となり、「減っている」と回答した人の割合が49.8%となっている。



◆現在の中心市街地をより活性化させるためにどのような取り組みが重要だと思いますか。(複数回答)

すべての年代で、「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が最も高く、5割を超えている。

